

平成 26 年 7 月 25 日

木づかいガイドライン作成関連資料

1 平成 25 年度 木づかいガイドラインの活動総括について

- ① 行政・森林組合等森林・木材関係者を中心とした木づかい推進の検討は、市民目線から離れてしまい、一部の専門家集団による議論に特化されてしまう懸念が生じた
- ② また、こうした関係者のみによる課題検討の傾向を打破する意味においても、流域圏懇談会への市民参加があるのではないか、との強い意見もあった
- ③ そこで山部会の参加者全員が森づくりを含めた木づかい推進に対する検討に参加し、参加者ひとり一人がどんなガイドラインが理想的なのか、その形を検討するため「皆を木の世界に誘うためのブレーストーミング」を実施した
- ④ このブレーストーミングの実施結果により、ほぼ参加者全員が自然・森・木に対する鮮やかな原体験を認識しており、その原体験が現在の自然志向に結びついているという、原体験効果の重要性が共通認識となった
- ⑤ 同時に、「知識を得る」ことよりか、もっと体感的なことや自然の持つ神秘性・美しさ・生命感を感じ取れるような感性が育まれる場面づくりの重要性が認識された
- ⑥ また、こうした原体験が青少年期に集中することから、木づかい推進にあたっては青少年期から森や木に触れ合う機会や場所を設けていくことの大切さが認識された
- ⑦ 青少年期から木づかい推進を進め、こうした場面や機会を矢作川流域全体に広げていくためには、まず市民目線から日常的に木づかい推進に結びつく行動・活動を考えてこれを核とし、その行動・活動を行政・業界・研究が支援していくような形が望ましいという結論となった
- ⑧ こうした考え・思想を流域住民に理解してもらうため、「人生を楽しみ愛する家族と共に幸せに暮らす 森や木とそれを育む矢作川の流れと共に生きるライフスタイルへの誘い 矢作川ディズ」としてまとめた
- ⑨ こうした取りまとめを踏まえ、赤ちゃんから始まるトータル的な各ライフステージにおいて、市民目線による木づかい推進を行う「矢作川ディズ 木づかいガイドライン ライフステージアタック表（イメージ案）」を作成した
- ⑩ アタック表の作成と森づくりガイドラインの検討を含め、これをより具体的に進めていくため、さらに広域的な県職員・市町村職員の参加を呼びかけた結果、山部会への参加者も増え、特に 3 県の林業普及指導員による統一的な情報の把握や、県の垣根を越えた活動や連携を期待している
- ⑪ 同時に、流域内で関連する方々の新たな拾い出しを呼びかけて、本年度の活動は終了している

2 平成 26 年度 木づかいガイドラインの活動方針について

- ① すでにアタック表に掲載できる既存の活動や、これから実践できる活動を加えたより現実的なアタック表とするため、既に木づかい推進に取り組まれている実績のあるスタッフや、関連するスタッフを新たに探して部会に参加してもらう
 - とよた森林学校関係者や卒業生・森の健康診断参加者に声をかける
- ② 新スタッフを加え、平成 25 年度のライフステージアタック表（案）をベースに、すでに取り組まれている「とよた森林学校」等の活動を表に落とし込んでみることにより、広範囲の木づかい推進活動をアタック表の視点から見える化してみる
 - 平成 26 年度 とよた森林学校の計画
- ③ この時点で分析を行い、どの部分が充実していて、どの部分が弱いのか把握し、アタック表を再整理してみる
 - 木づかい推進を充実させる
- ④ また、ここで明らかになった先進的な取り組みを数回、部会として体験してみる
 - 山部会が実践し、またモニターになってみる
- ⑤ この先進的な取り組みが他地区へも比較的簡単に導入することができれば、それをアタック表に加えて見える化する
 - 具体的な木づかい推進活動を展開してみる
- ⑥ これにより、現時点での木づかいガイドラインの原形を作成する
- ⑦ 核となる市民活動（提案されたものも含める）ごとにプロジェクトチームを結成し、行政・業界・研究者の上手な連携の形態を提案、あるいは構築できるように検討・働きかけを行い（どの程度までできるかは検討）ながらアタック表に掲載して、皆が現実的な取り組みとして行動できるように段階的に木づかいガイドラインの作成を進める

3 具体的な当面の活動

市民参加型 木づかい推進に向けた実践的な取り組み(案)

- ① 根羽村独自の木づかい推進活動 別紙のとおり
- ② 「とよた森林学校」の事例から学ぶ活動

豊田市及び豊田森林組合が実践している「とよた森林学校」は多くの市民に対して自然観察や林業の実践等の講習会を開催しており、大変好評のうち開校から 9 年目を迎えている。講習会に参加した市民は、自然に対して理解を深め、ライフスタイルの中に自然と親しむ時間を大切にされる方も増えてきている、との報告もある。

また、中にはもう少し進んで、普段なかなか取り組むことができない身近な森林の手入れ等の山仕事まで学ばれて実践される方も多いとのことである。さらに、豊田市から始まった「森の健康診断」参加者の多くは、「とよた森林学校」にも参加されている方が多いと推測される。

このように、「とよた森林学校」は多くの市民に対して自然や山仕事に対する関心や理解を高め、自然や森のファンを生み出した大変素晴らしい活動として評価できる。今回の「木づかいガイドライン」の作成にあたり、すでに実践されている「とよた森林学校」の取り組みをまずベースとしてとらえ、市民の視点から「さあ~しよう」の形を基本形とし、市民がアクションを起せるガイドラインを作成する。

また、昨年度山部会で行った各会員のブレインストーミング内容の視点を盛り込みながら、矢作川流域市民がライフスタイル的に参加し継続できる「矢作川ディズ」な森や木づかいの楽しみ空間や活動を、山部会に参加する私たちがそれぞれの立場を活用して、意図的・戦略的に発掘し、そして創りだし、紹介していこう。

「さあ~しよう」 （木の魅力と楽しみ=継続に導く）

ブレインストーミングの内容を思い出し、「さあ~しよう」の形で市民を起動させてください。

ヒント

- 自分の感動場面をプレゼントする
- 今の自分ストーリーの原点をプレゼントする
- やっぱりこうでなきゃあーと力強く誘う
- 自分の好きでたまらないこと・面白いことに誘う
- 自分の素晴らしい体験に誘う
- 自分の嗜好・思考に誘う
- これだけは知っていて、絶対体験してと誘う
- 森や川の素晴らしい場所に誘う
- 素晴らしい活動を紹介する
- 楽しい木の工作を語って強く誘う
- 素晴らしい人を紹介する
- 素晴らしい本を紹介する

大原則

- ・人は快樂を求めて動く
- ・人は苦痛から逃れるために動く

ポイント

- ・人は自分独自の必要性のあるものに惹かれる
- ・人は自分独自の必要性あるものと欲しいものが一致した時、強いアクションを起す
- ・商品そのものを売るよりか、それを好きそうな人を集めて色々仕掛けた方が合理的

●森や木とそれを育む矢作川の流れと共に生きるライフスタイルへの誘い 矢作川ディズ

ポイント

- ① さあ~しようの形で「木づかいガイドライン」を考える
- ② さあ~しようの形で現在行われているものを整理する
- ③ 山村に関連する様々な立場の方々の実践を整理する
- ④ ライフステージ別アタック表により取り組みを統一的に見える化する
- ⑤ センスオブワンダー（自然の神秘・不思議等を感じる心）の場면을重視する

ブレインストーミングの結果による木づかい推進の考え方

- ①ブレインストーミングの結果、市民が主役となって生活の中で自然に木づかいを推進してもらうためには、市民のライフステージに合わせた取り組みが必要と考えられる。
- ②特に、ひの頃の自然との触れ合い等の原体験が、今後の自然観や森や木や水への関心度を高めることに対して、極めて重要であることが共通認識されているので、年少時からの木づかい推進の関わりを重視したい。
- ③矢作川流域ならではの森や木と水と共に人生を楽しむライフスタイルをまず、市民生活の中において意識化（矢作川ディズ）させ、産官学の連携によって、中でも森林づくりや木づかい推進を特に意図しながら進めていきたい。
- ④市民のライフステージをベースにして多岐に渡る木づかい推進項目を整理し、各項目ごとにフォーマットを決めて検討を進めることで、テーマの絞り込み・集中化・関連する関係者の招集・ワーキング活動がやりやすくなると考えられる。例えば、今回のテーマは、A-ア-①という具合に。山部会での様々な木づかい推進アイデアを各ライフステージに盛り込んで形にしたい。
- ⑤推進項目のフォーマットが決定できれば、パターン化による電子媒体化・電子本・共通ホルダー化の作成も検討したい。場合によっては、市民からの情報収集も行いたい。
- ⑥市民が実践しているフリーペーパー「耕ライフ」誌のセンス・コンセプトを活かして、多岐に渡るテーマから順番にテーマを決めて、ポイント的に紹介して「矢作川ディズ」の見える化と推進を図りたい。
- ⑦推進項目やライフステージの区切りについては現行のイメージ（案）をベースに、ブレインストーミングにより整理したい。
- ⑧ガイドラインの作成を進めるにあたり、森づくり・木づかいの最前線の方々の参加によるワークショップを実践したい。その方々の現行の取り組みやワークショップの取り組みをライフステージアタック表に整理して組み込むだけでも、矢作川流域オリジナルとなるトータル的な木づかいガイドラインが作成できると考える。
- ⑨各県の林業普及指導員が参加してくれることにより、森づくり・木づかい推進の各県の共通項目による情報収集・人の輪づくり・行政提案・活動実践がやりやすくなる考えられる。各県の指導員の密な連絡・連携体制を期待したい。

矢作川ディズ 市民が行動を開始できる木づかいガイドライン ライフステージアタック表
(案)

<p>矢作川ディズな ライフスタイル を確立するための ライフステージ アタック対象</p>	<p>ライフステージ の特徴</p>	<p>市民編A 森や木と水 と共に人生 を楽しむラ イフスタイ ル矢作川デ ィズへの誘 い</p> <p>自発的活動 こんなこと を目指して さあ～しよ う</p>	<p>行政編B 木づかい推 進に向けた 社会環境・シ ステムづく りと矢作川 ディズへの 支援</p> <p>施策への導 き このような 意図で施策 的に取り組 んでいるの でさあ～し よう</p>	<p>業界編C 楽しい矢作 川ディズの 演出や木の 製品提供と そのことに よる持続可 能な地域産 業・生業の確 立</p> <p>魅力の伝達 こんな魅力 ある商品な のでさあ～ しよう</p>	<p>研究編D 木のすばらし さを伝えて木 づかいを進め、 森林や矢作川 の持つ役割の 大切を普及さ せる</p> <p>提案型 だからさあ～ しよう</p>
<p>ア 赤ちゃん～ 保育園の入園前 対象者数</p>	<p>人生のはじまり 木のぬくもり 三つ子の魂 100 までも</p>	<p>① センス・ オブ・ワ ンダーの 大切さを 理解しよ う</p> <p>② 木のぬく もりで育 児をしよ う</p> <p>③ 家族で自 然の息吹 を感じよ う</p> <p>④ 安心して 野外で遊</p>	<p>① お父さん と母さん と赤ちゃ んのため の優しい 緑の散歩 道づくり</p> <p>② お父さん とお母さ んと赤ち ゃんのた めの優し い緑の公 園づくり</p> <p>③ 子供とお 父さんお</p>	<p>① 子供の安 全な子育 てに配慮 したベビ ーベッド</p> <p>② 安心して 使える木 の食器</p> <p>③ 木のおも ちゃの提 案</p> <p>④ お風呂に 浮かべる 木の玉ブ レゼント</p> <p>⑤ 小さな子</p>	<p>① 幼児期にお ける木との 触れ合いが もたらす効 果</p> <p>② 幼児期にお ける緑の空 間もたら す効果</p>

		ぼう ⑤ 記念植樹をしよう ⑥ お母さんに読んでもらいたい本	かあさんが過ごしたい木と緑に囲まれた憩いの空間づくり	供さんに配慮した緑陰樹を植える	
イ 保育園児 対象者数	人生のはじまり 木のぬくもり 三つ子の魂 100 までも 五感の発達	① 自然を感じてみよう ② 木で遊ぼう ③ 木と森の物語を楽しもう ④ 子供と楽しもう	① 木造保育園の設置 ② 身の回りの木造製品の施設設置 ③ 窓辺を覆う緑のカーテンづくり	① 木造保育園モザイク床パネル ② 保育園児のための積み木のプレゼント（針・広の樹種）	① 木造校舎が児童に果たす様々な効果 ② 保育園児の好きな形・玩具の研究
ウ 小学校 対象者数	感受性の高まり 自我の芽生え センス・オブ・ワンダー 人間関係の構築（仲間に対する信頼・友情等） 自分の力の認知	① 自然を五感で感じてみよう ② 自然観察をしてみよう ③ 君に教えるふるさとの木の四季の姿（マイツリーを見つけよう・植えよう） ④ 木の工作をしてみよう	① 子供たちが入っても安全な学有林の設置 ② 先生のための木育指導ガイドブック（流域編） ③ 先生のための木育指導研修 ④ 先生のためのブックレビュー	① 児童と先生のための山仕度セット（地下足袋・鉋・鋸セット） ② 地元の木を使用した魅力的な校舎の建築 ③ 木のキットハウスの提案（木の工作室）	① 自然との出会いがもたらす創造力・観察力・協調性の効果 ② 木造校舎が児童にもたらす情操効果 ③ 子供のための木の科学実験ガイドブック ④ 森の働きについての理解を高める教材づくり

木づかいガイドライン 「さあ~しよう」のフォーマット（市民編案）

区 分		内 容			
さあ~しようのテーマ					
いつやるの					
どこでやるの (位置図)					
誰が対応してくれるの					
誰が対象者なの					
どんなことをやるの					
どんなことが面白いの どんなことが魅力的なの					
どのくらい時間がかかるの					
いくらかかるの					
何を用意すればよいの					
どんな感じなの(映像)					
お薦めポイントは何なの					
参加者からのレビューは					
対象年齢	衝撃度	神秘度	リピーター率	安全性	ステージ表

木づかいガイドライン 「さあ~しよう」のフォーマット（市町村編案）

区 分		内 容		
さあ~しようのテーマ				
どのような内容なの				
誰が対象者なの				
どんなことが条件なの				
どんなことが魅力的なの				
どのくらい時間がかかるの				
いくらかかるの				
何を用意すればよいの				
どんな感じなの（映像）				
お薦めポイントは何なの				
利用者からのレビューは				
対象年齢	衝撃度	やってよかった度	他県普及性	市民貢献度

木づかいガイドライン 「さあ~しよう」のフォーマット（業界編案）

区 分		内 容		
さあ~しようのテーマ				
どのような内容なの				
誰が対象者なの				
どんなことが条件なの				
どんなことが魅力的なの				
どのくらい時間がかかるの				
いくらかかるの				
メンテナンスは				
どんな感じなの（映像）				
お薦めポイントは何なの				
利用者からのレビューは				
対象年齢	衝撃度	やってよかった度	他県普及性	市民貢献度

木づかいガイドライン 「さあ~しよう」のフォーマット (研究者編案)

区 分		内 容		
さあ~しようのテーマ				
どのような内容なの				
誰が対象者なの				
どんなことが魅力的なの				
どのくらい時間がかかったの				
いくらかかったの				
どんな感じなの (映像)				
お薦めポイントは何なの				
研究者からのレビューは				
市民貢献度	衝撃度	おすすめ度	他県普及性	発展性

今後の発展性について

根羽村矢作川ディズ 森と木のある暮らし講座を開設します（イメージ案）

1 当初段階…木のある暮らし講座の周知段階

根羽村にきて様々な木工工作に取り組みましょう。木工工作に必要な部材はすべて根羽スギで用意できます。また、木工工作に必要な工作器具は根羽村で用意してあります。工作室は、根羽村森林組合の木工加工室となります。指導者は根羽村民等です。デザインは、根羽スギに携わる者からのアイデアで考えられており、少し専門的ですが製作のしやすさを重視しています。ライフスタイルを豊かにするために根羽村手仕事市に参加された木工等のクラフトマンの紹介やイベント情報も提供します。

2 取り組み発展期…大型家具や大型施設等への製作チャレンジ・土地活用段階

根羽村でガーデンハウス等を自作し、遊休農地等で農業・林業にチャレンジしたり、自然に囲まれたオリジナルな自分時間が欲しい方は、根羽村民と「田舎の親戚」契約を締結した上で、建築場所と遊休農地を斡旋します。根羽村で木工工作に取り組み、ガーデンハウスやマイイベントハウスを建築して自然の中で森や農業と共に生きるライフスタイルを楽しんでみませんか。

山の中に建築する「マイツリーウッドデッキ」、「天体観測ハウス」、「夕焼けツリーハウス」、「花ふぶきハウス」にもチャレンジしてください。

そんなライフスタイルを支えるアウトドアアイテムを販売するアンテナショップも検討中です。

3 自らが提案者として活躍…自らの経験知を事例や取り組みを通して広く伝える段階

さらに、木のある暮らし講座をさらに楽しんでいただくために、森や木のファンの皆様の経験を活かした個人提案型講座「森と木のファンからの提案チャレンジさあ～しよう講座」開設について、事務局で提案内容を確認させていただいた上でスタートとする予定です。自分の持っている森や木に対する技能・経験・知識を皆さんに教えてあげてください。

同様に、森林や木に対する様々な立場の方々からの個人提案型講座「市町村・関係業者・研究者からの提案チャレンジ さあ～しよう講座」も併せて開設しますので、森と木に関する様々な提案を個人の想いや情熱をたっぷり込めて根羽村から発信してください。

なお、講師料等については、参集された方々の「参加料」からお支払いしますので、お仲間をたくさんお誘い併せの上、提案されることをお勧めします。

なお、木工工作器具について個人用について一式そろえたい方は、販売店を紹介します。

根羽村 木のある暮らし講座 参加予定者（案）

所 属	氏 名	備 考
稲垣建具店	稲垣 晃	木工全般指導・建具・木工デザイン
大工	片桐 伸夫	木工全般指導・建具・木工デザイン
松尾自動車	西尾 竹司	木工・木彫り・ジビエ・アユ燻製
NPO ねばりん	南木 一美	木の駅・薪販売・ろくろ細工・アクセサリー・ジビエ
矢作川流域圏懇談会	丹羽 建司	企画・木づかい提案・ギャラリーハウス・委託販売
農事組合法人	鈴木 伸治	木工・絵手紙・ソバ・サニーショコラ
素材生産	石原 光治	山づくり・木工材料・木の駅・木質バイオマス構想
酒屋	石原 明治	信州地酒カラック販売
小川タイヤ商会	片桐 康孝	木質燃料の調達・販売等
根羽村商工会	石原 正和	人員手配
根羽村猟友会	片桐 龍男	山材料・ジビエ
すぎっ子餅	原 小夜子	ご当地弁当・からすみ・大福餅
根羽小学校	6年生	ちはる、はるか、ゆうか、ひなた、ふう、はるき、しゅんすけ、藤木先生 グッズ・デザイン企画提案
木工クラフトマン	松野夫妻	針葉樹家具全般
根羽村森林組合	鈴木 吉明	木工・建具・住まい提案
	今村 豊	木工・木育・木の実験・営業・企画・乾しいたけ
	鈴木 寿	木工・建具・機械操作指導
	石原 稔明	木工材料
	佐伯 伸治	木工材料
	小野 隆治	木工・木育・チェーンソーアート・機械操作指導
	堀 聖二	営業・情報収集
	石原 八重子	根羽村オリジナル木のデザイン企画
根羽村	小木曾 秀美	講座開設行政支援・広報・企画
	塩澤 聡氏	〃
計	32名	

平成 26 年 4 月 22 日

根羽小学校と進める根羽村オリジナルスギダラ商品開発・森の生活実践事業（案）

目的

長野県民および矢作川下流域住民の赤ちゃんからお年よりに至る全てのライフステージのあらゆる生活場面において、スギ・ヒノキ・広葉樹等の矢作川流域材による様々な木製品を普及させることにより、森と木と水と共に豊かに暮らすライフスタイル「矢作川ディズ」を提案し、これを上流域の里山から下流域の河口に至るまで「矢作川」の流れを心の絆として、流域的に定着させることを目的とする。同時に、上流部におけるライフスタイル「森の生活」提案により、里山の持つ多様な魅力を引き出し、下流域住民に対して里山志向という価値の創造を図る。

このため、森林組合と根羽小が子供の視点や家族・親子の視点を取り入れて木の製品を開発し、これを用いながら「森の生活」という里山商品を開発して、持続可能な村づくりを目指す。

このため、以下のとおり事業を実施する。

① 「根羽スギオリジナルスギダラ商品」の開発

全国各地で展開している「スギダラ運動」と連携し、すでに検討されているスギダラ商品を含めて根羽スギ等のストック材を活用して製作できる「根羽スギオリジナルスギダラ商品」等を開発する。

開発にあたっては、組合内に「スギダラ開発検討会」を立ち上げ、森林組合でベース商品を製作する。製作された商品を、森・木・水・教育・環境関連市町村、企業、店舗、公園、公共施設等をモニター対象として位置づけ無料貸し出しを行い、同時にアンケートを実施して使い勝手等についてのユーザーの声を拾い、その製品の使いやすさ、製品PR等の判断材料とする。

製品については「商品売る」という視点ではなく、ライフスタイル提案により「その製品と共に自然を感じられるゆとりのある時間を持ちたい」という、木との触れ合いによる快適性・自然志向を求めるユーザーの気持ちを喚起させることをポイントとする。従って、当初は先着式で、ライフスタイルを感じ取ってもらうためのモニターへの無料貸し出しを重視する。

当事業のモニターとして、根羽小中学校、矢作川流域圏懇談会、飯伊森林組合、売木村、信大農学部他各大学、矢作川下流女性グループ、とよた森林学校卒業生、名工家、モンベル、教育委員会、無垢造、全国クラフトマン等を見込む。

- ② 「森と木と水と共に豊かに暮らすライフスタイル提案 矢作川ディズ」祭りの開催
開発された商品を常設展示できる公開場所や、常に工作体験のできる場を確保し、
商品のデザイン・機能性等についてアンケートを取る。アンケートから矢作川にお
ける豊田市のエコフルタウンをターゲットとしたい。また、森や木づかいを通して
都市と山村との交流を定着させるため、「森の生活」をバック化（商品開発）し、モ
ニター募集を呼びかける。

森の生活とは（里山にある自然と共にある魅力的な山村生活を知り、自ら村民か
ら学びどんどん向上・成長して人生を豊かに楽しんでもらうこと）

森の生活のイメージ

村民と田舎の親戚になる

森の中の小さな小屋に寝起きする

朝日と夕日を必ず見る

体のストレッチを必ず行う

山を歩き、そして走る

泉の水を飲む

山仕事をする

このため身支度を整える

道具の手入れを行う

間伐をする

道づくりをする 橋を渡す 薪づくりをする 木を植える

苗を育てる きのこと栽培をする 山野草を育てる 獣を獲る

農作業をする

木の駅に丸太を運び地域通貨を得る（即時交換制にする）

山の健康診断をする

信大農学部の研究に参加する

オーダーメイドの山づくりをする（ハナモモの里、花の山）

ダッチオープン料理を楽しむ

木工作を楽しむ

木の科学実験をする

ツリークライミングをする

ボルダリングする

読書し良い音楽を聴く（必読図書はレイチェル・カーソン、宮沢賢治・ヘ
ンリー・デビッド・ソロー、西岡常一）

星空を眺め風を聴く

「森と木と水と共に豊かに暮らすライフスタイル 矢作川デイズ」
デザイン性重視、快適性重視、長時間滞在重視、こじゃれ空間重視、女性感
度重視、子供お気に入り感重視、何でもない遊び道具販売重視、子供たちの
木育アイテム、木の端材磨き、ドラム缶風呂アイテム販売